

田んぼってスゴイなあ！

～ 田んぼ知っとくクイズで遊ぼう！～

これから、田んぼ知っとく ×クイズ を始めるよ！

正しいと思ったら、間違いと思ったら × で答えてね！

クイズ

宮城県の田んぼで収穫されるお米の量は、県に住んでいる人が一年間に食べるお米の量の3倍である。

宮城県のレッドデータブックで準絶滅危惧種に指定されているメダカは、田んぼや水路で卵を産む。

宮城県の田んぼに貯まる雨の量は、県内で一番大きい「七ヶ宿ダム」の2倍以上である。

宮城県の田んぼやその周辺では、50種類以上の魚が確認されている。

宮城県の田んぼには、作物を作る働き以外に洪水を防ぐ働きのほか、動物や植物のすみかになっていたり人々にやすらぎを与えたり、さまざまな働きがある。

知っとくデータ

宮城県で収穫されるお米の量は毎年およそ42万トン。これは、700万人が1年間に食べるお米の量に相当し、宮城県全人口の3倍もの人たちの食を支えているんだよ！（1トン=1,000kg）

メダカは、学名を「*Oryzias latipes*」（ギリシャ語で「稲の周りにいるヒレの広い魚」）、イギリスでは「ライス（=米）フィッシュ（=魚）」と呼ばれ、田んぼに深く関わって生活している魚なんだよ。

宮城県の田んぼ面積は11万ヘクタール。仮に20cmずつ雨水を蓄えた場合、その量は2億2千万立方メートル。県内で一番大きい「七ヶ宿ダム」の2倍以上の水を溜めることができるんだ！

宮城県では平成13年度から県内の約460地点で生きもの調査を実施してきました。その結果53種の魚、9種のカエルなどが確認されました。何種類の生きものを見つけたことがあるかな？

いろいろな働きを田んぼに行き行って確かめてみよう！！

回答

答えは全てです。知っとくデータで確かめてね！

平成19年12月

作成：宮城県農業農村整備・広報広聴活動推進委員会
田んぼの生きものマップ作成ワーキンググループ